

2007年度 中間決算の概要

2007年10月30日
住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

2007年度 中間決算実績

2007年度 業績見通し

決算関係参考資料

2007年度 中間決算概況

売上高 8,478億円（前年同期比 +10.4%）

経常利益 1,527億円（前年同期比 △ 2.1%）

- 鋼材需要は概ね堅調に推移
- 非鉄合金・フレート等の高騰、税制改正影響、設備投資・研究開発費増に伴う固定費増加影響等に加え、鹿島高炉切替等の影響もあったが、鋼材価格の改善・コスト改善や評価損益の好転等により、営業利益は、前年同期比 66億円の好転。経常利益は昨年上期のSUMCO子会社清算に伴う税の認容が無くなったこと(△90億円)等により微減

差別化の加速に向けた成長戦略を着実に推進

- 鹿島の薄板自動車専用連続ライン稼動(新酸洗—新溶融亜鉛めっきライン)、ステンレスボイラチューブ能力増強工事等順調に進捗

中間配当5円／株を決議（年間配当 10円／株の予定）

- 3期連続して高水準の経常利益を確保可能な見通しであり、差別化の加速に向けた積極的な投資を実行しつつも、財務体質の安定性も増しており、中間配当は5円／株を決議(従来予定対比 +1円／株)、年間配当についても10円／株を予定(従来予定対比+2円／株)

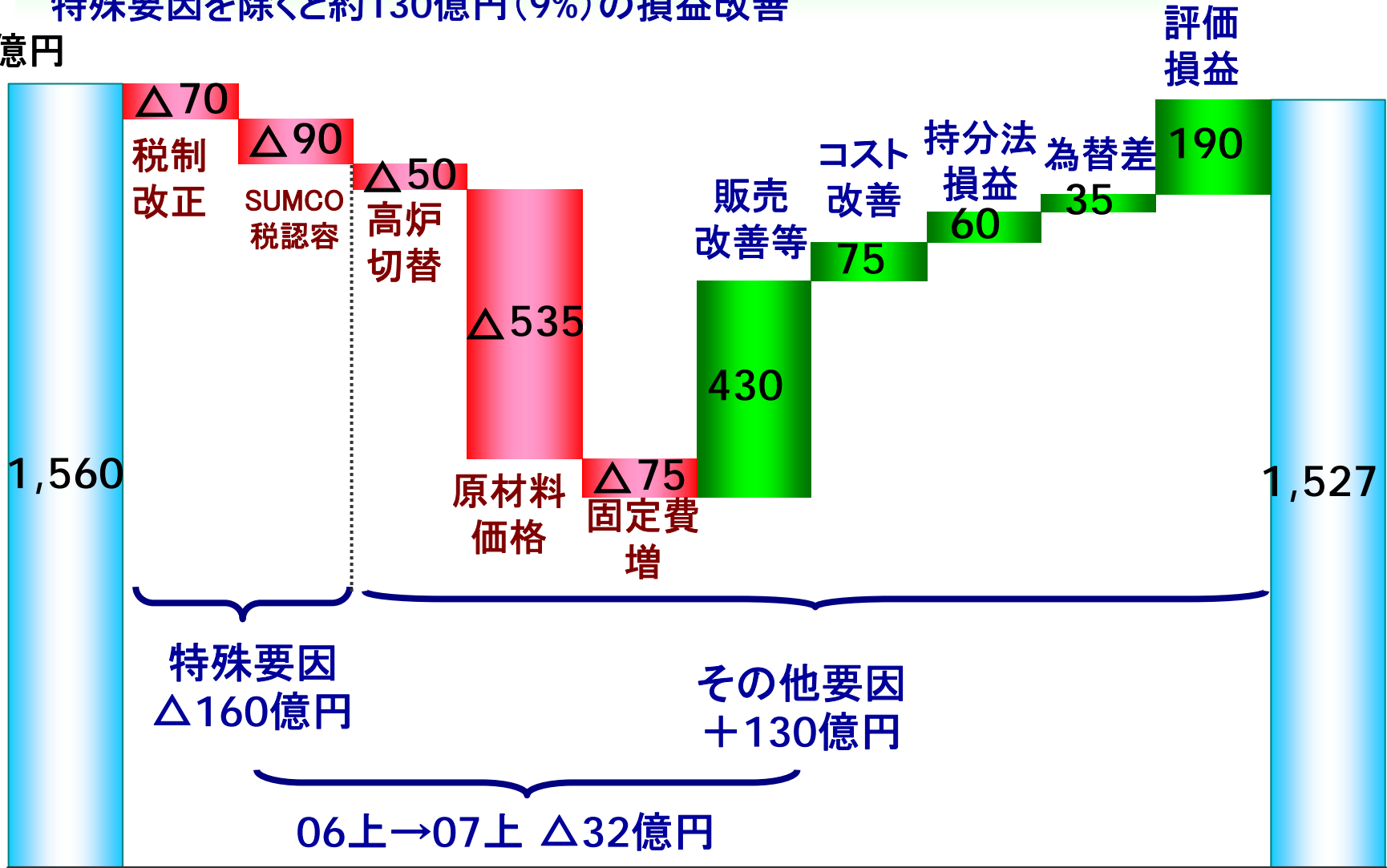
07/上期 連結決算概要

億円	06				07	Change to		Change to	
	上期	下期	1Q	2Q	上期	%	07上期 06上期	%	07上期 06下期
売上高	7,682	8,344	4,063	4,414	8,478	110	795	102	133
営業利益	1,351	1,686	658	758	1,417	105	66	84	-269
経常利益	1,560	1,716	752	774	1,527	98	-32	89	-189
特別損益	△ 46	187	4	-	4		51		-182
法人税等 少数株主損益	△515	△634	△309	△254	△563	109	-47	89	71
当期純利益	997	1,269	448	520	969	97	-28	76	-300
1株当り 純利益(円)	20.78	27.20	9.70	11.46	21.15	102	0.37	78	-6.05
為替レート (円/\$)	115	119	121	118	119		4円安		-

連結経常利益増減要因 (06/上期→07/上期)

償却制度変更影響、06/上期にあったSUMCOの子会社税認容等の特殊要因を除くと約130億円(9%)の損益改善

億円



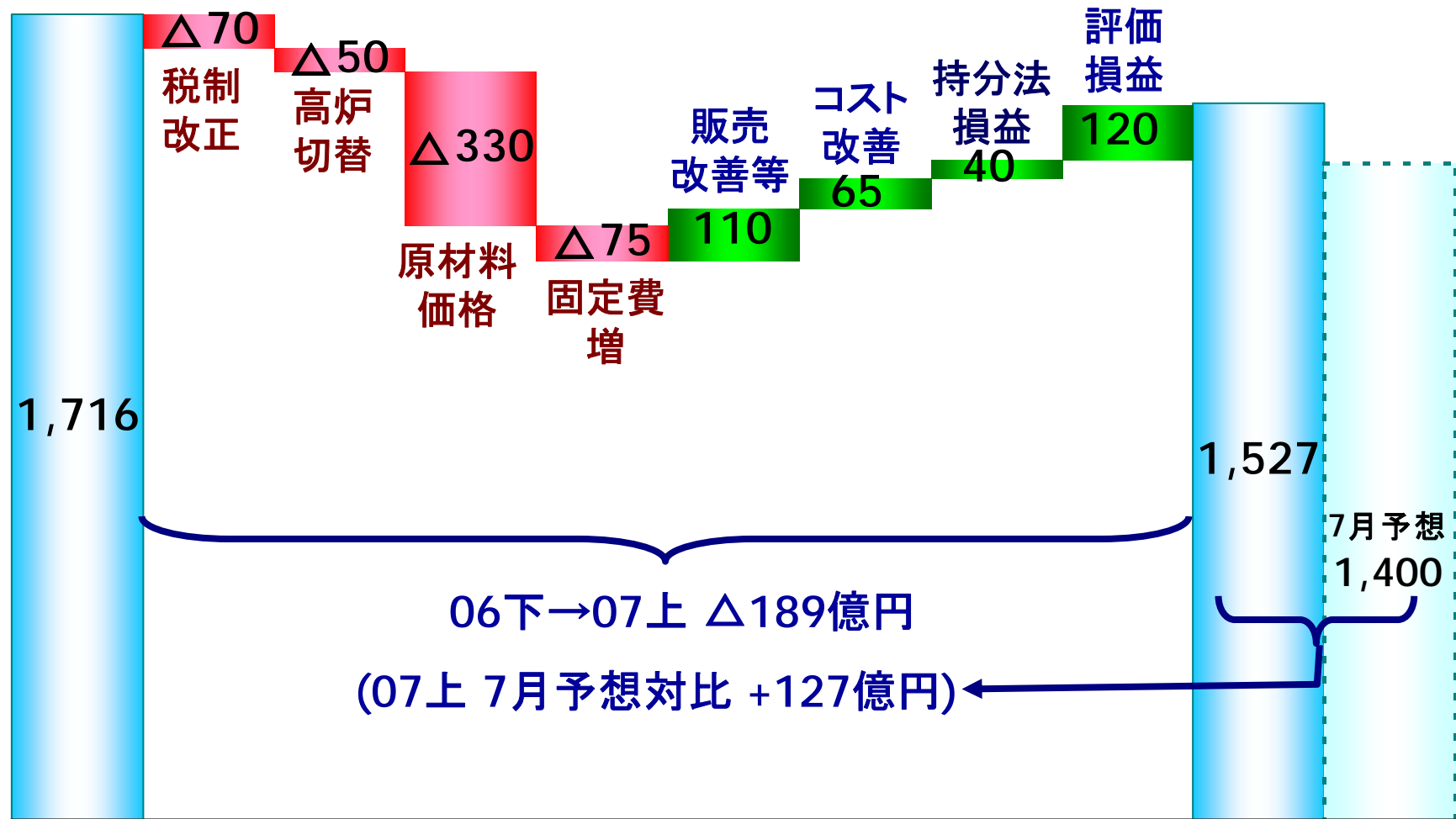
06/上期

連結経常利益増減要因 (06/下期→07/上期)

非鉄・フレート等原材料価格高騰に加え、税制改正・高炉切替等の影響もあり、
経常損益は189億円の後退

(7月予想に対しては、販売改善・持分法損益向上等により127億円の改善)

億円

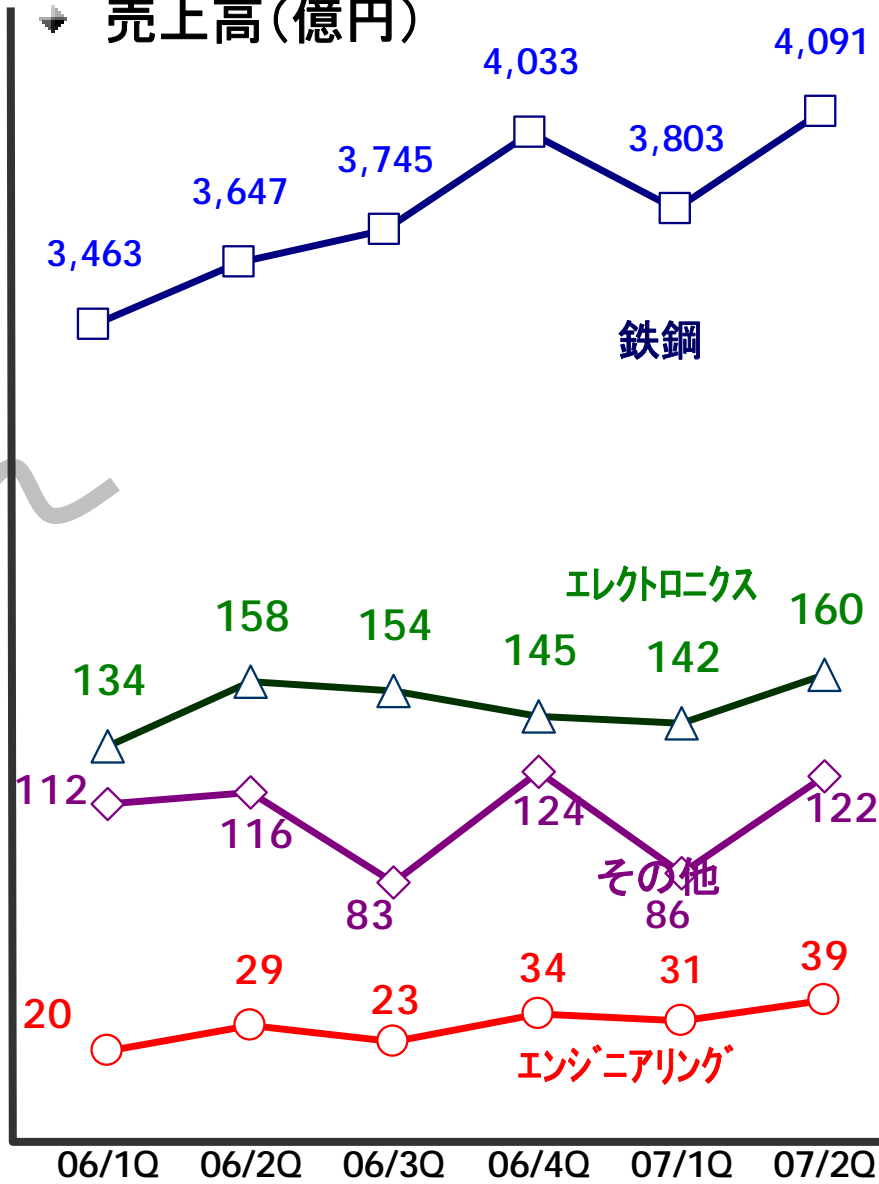


06/下期

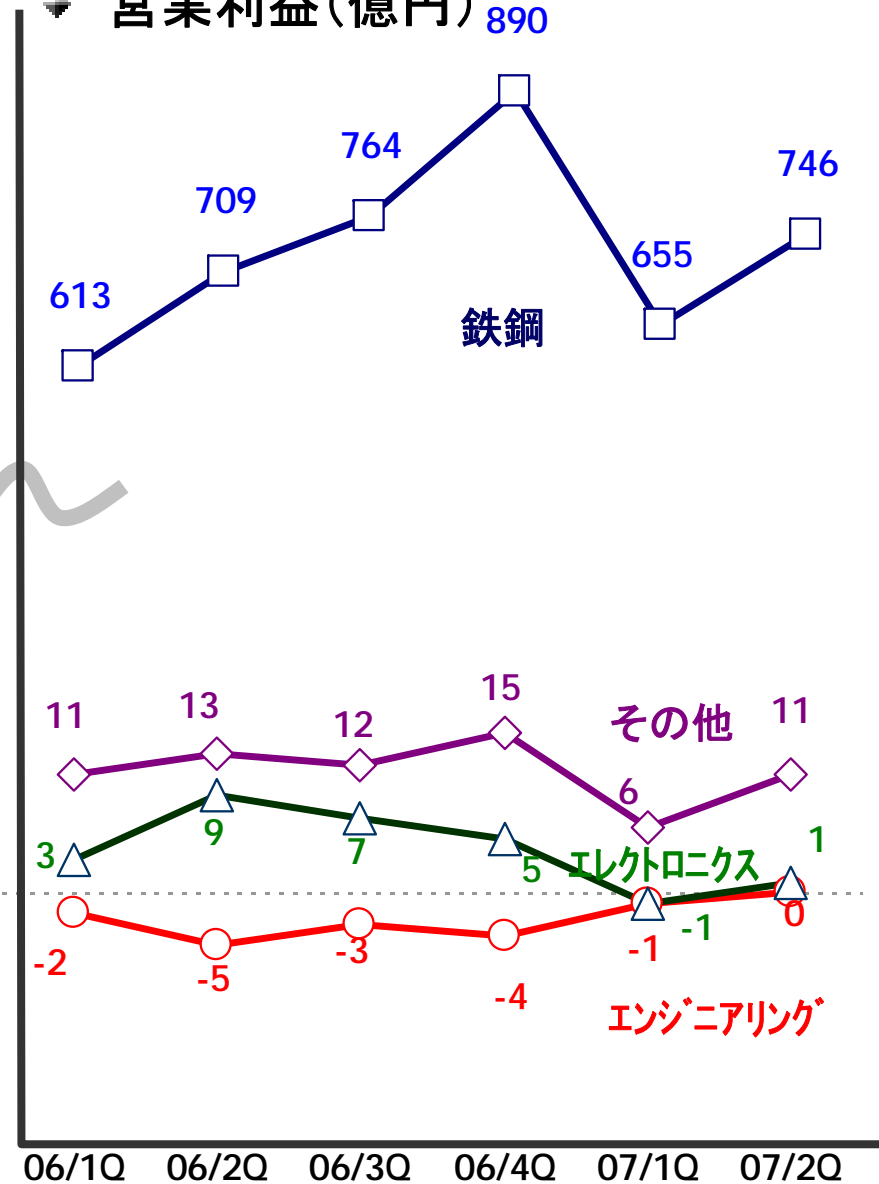
07/上期

連結セグメント別売上高・営業利益 四半期別推移

売上高(億円)



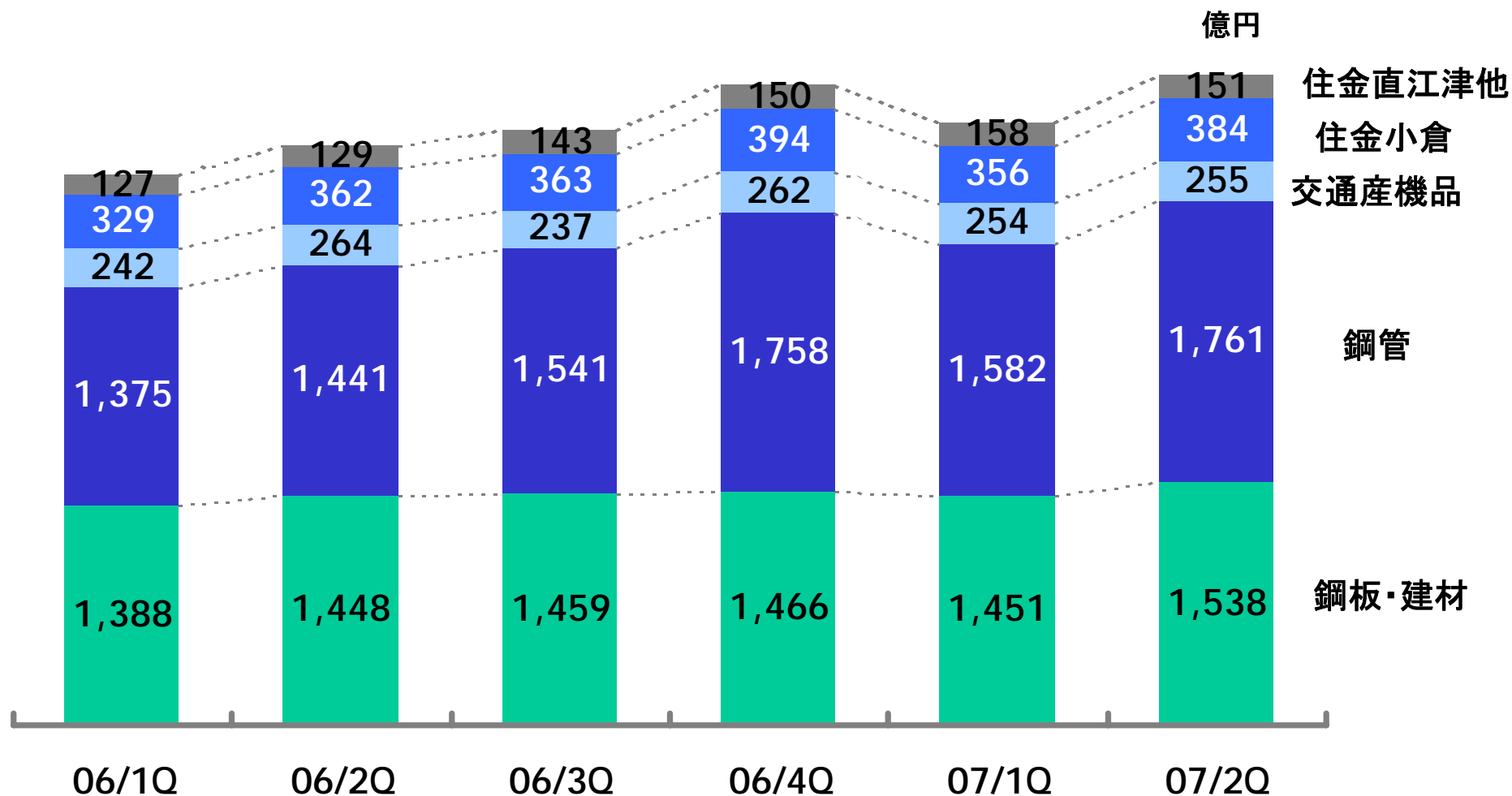
営業利益(億円)



07/9E 連結BS概況

億円	06		07		
	9E	12E	3E	6E	9E
【資産の部】					
流動資産	6,655	6,834	6,725	7,129	7,194
有形固定資産	10,167	10,211	10,462	10,657	10,788
無形固定資産	56	52	50	47	43
投資その他	4,324	5,085	5,776	6,125	6,030
総資産	21,203	22,184	23,015	23,960	24,056
【負債および資本の部】					
流動負債	8,052	8,603	8,078	8,939	8,623
固定負債	4,855	5,337	5,689	5,798	6,141
純資産	8,295	8,243	9,247	9,222	9,291
借入残高	6,677	7,416	7,179	7,981	7,784

連結 鉄鋼セグメントカンパニー別 売上高四半期別推移



2007年度 中間決算実績

2007年度 業績見通し

決算関係参考資料

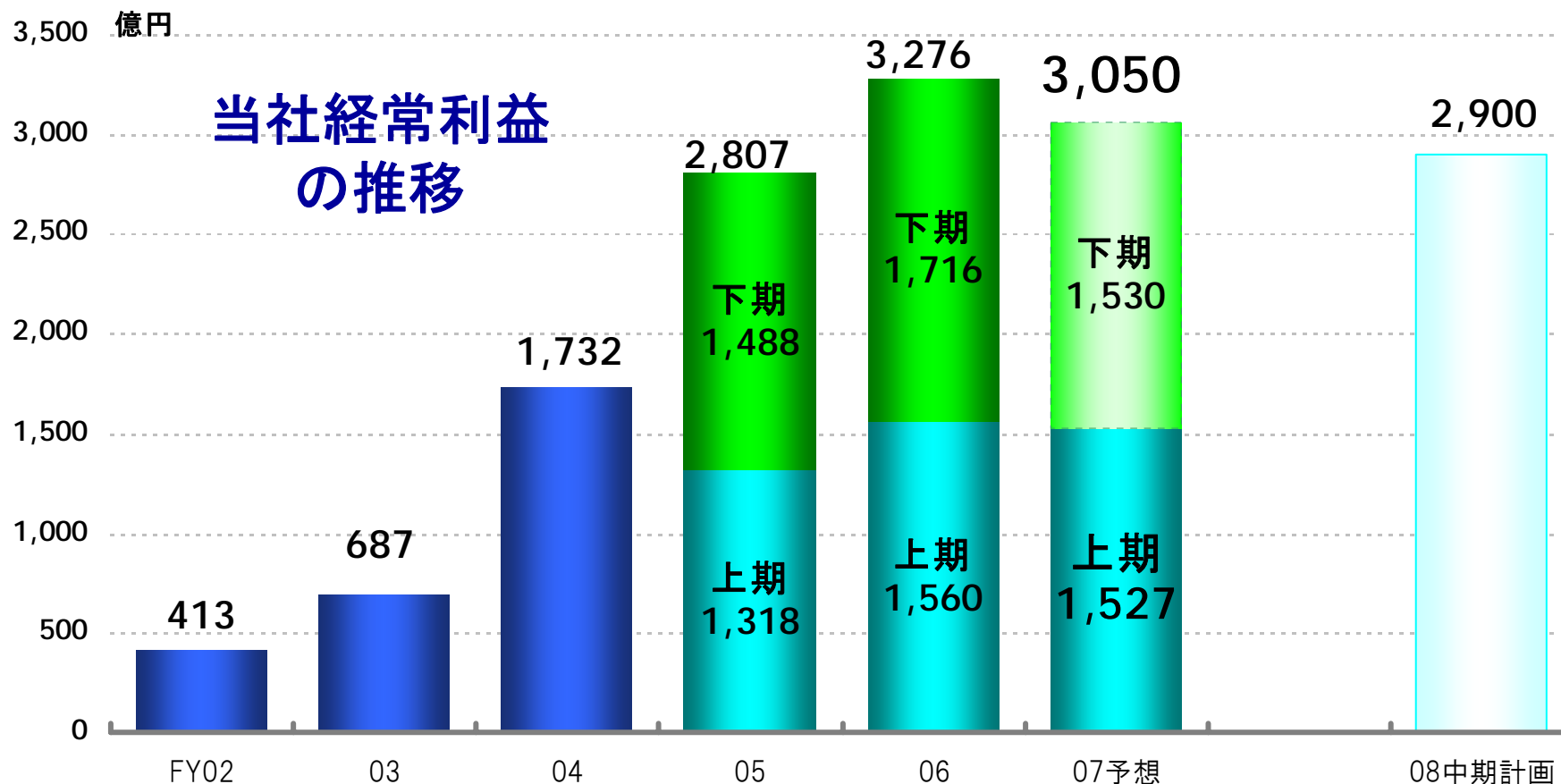
2007年度 業績見通し

売上高 17,300億円 (前回予想対比 +200億円)

経常利益 3,050億円 (前回予想対比 +50億円)

年間配当方針 10円/株 (前回公表対比 +2円/株)

中間配当 5円/株 (前回公表対比 +1円/株)

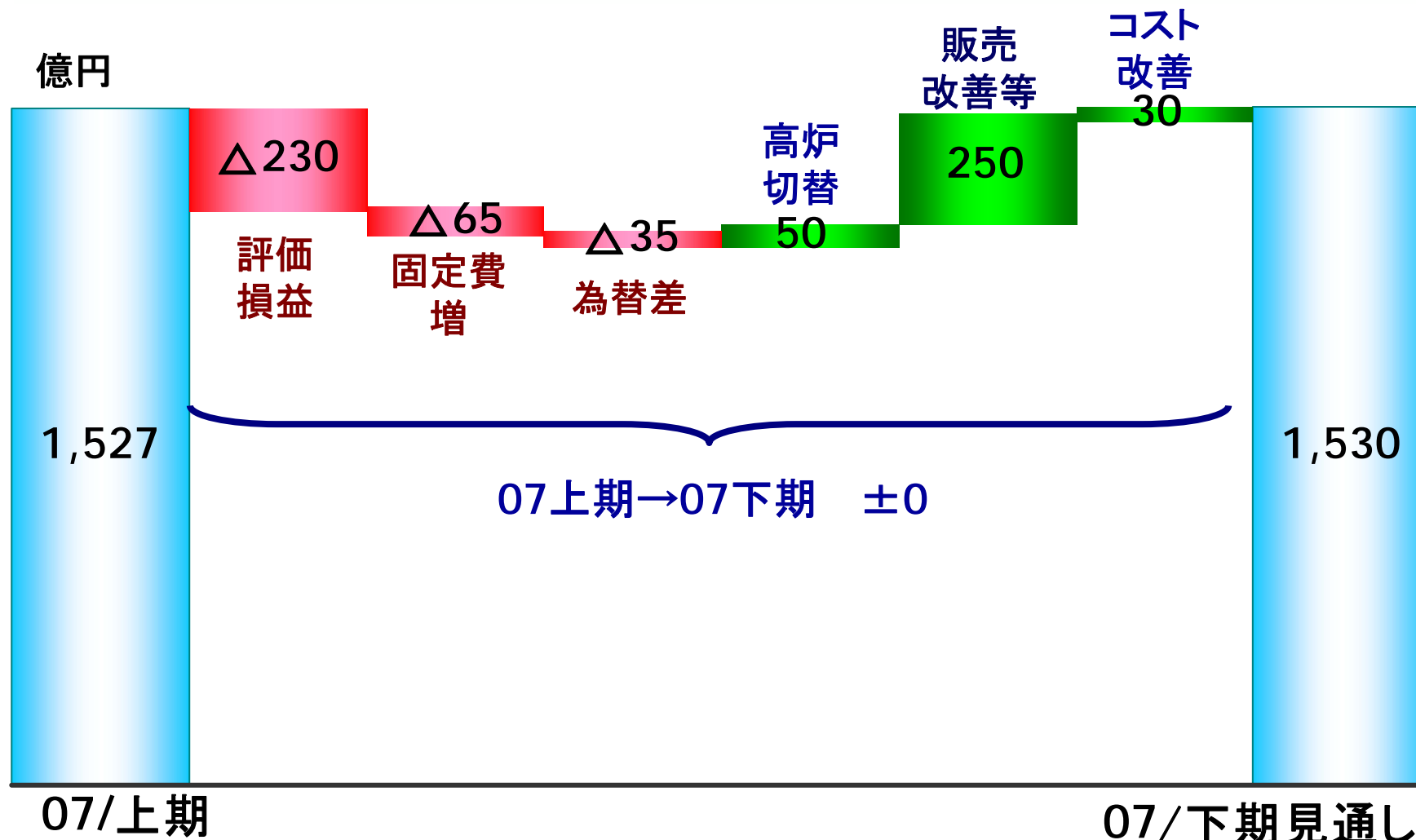


07年度 連結業績見通し概況

億円	06年度 実績	07年度見通し							06 → 07 増減
		(前回)	上期 実績	(前回)	下期 見通し	(前回)	計	(前回 との差)	
売上高	16,027	(8,300)	8,478	(8,800)	8,800	(17,100)	17,300	(200)	1,272
営業利益	3,037	(1,300)	1,417	(1,500)	1,430	(2,800)	2,850	(50)	△ 187
経常利益	3,276	(1,400)	1,527	(1,600)	1,530	(3,000)	3,050	(50)	△ 226
特別損益	140	(4)	4	(-)	△95	(4)	△90	(△ 94)	△ 230
法人税等 少数株主損益	△1,149	(△550)	△563	(△550)	△500	(△1,100)	△1,060	(40)	89
当期純利益	2,267	(850)	969	(1,050)	935	(1,900)	1,900	(-)	△ 367
1株当り 純利益(円)	47.89	(18.54)	21.15	(22.91)	20.58	(41.45)	41.82	(0.37)	△ 6.07

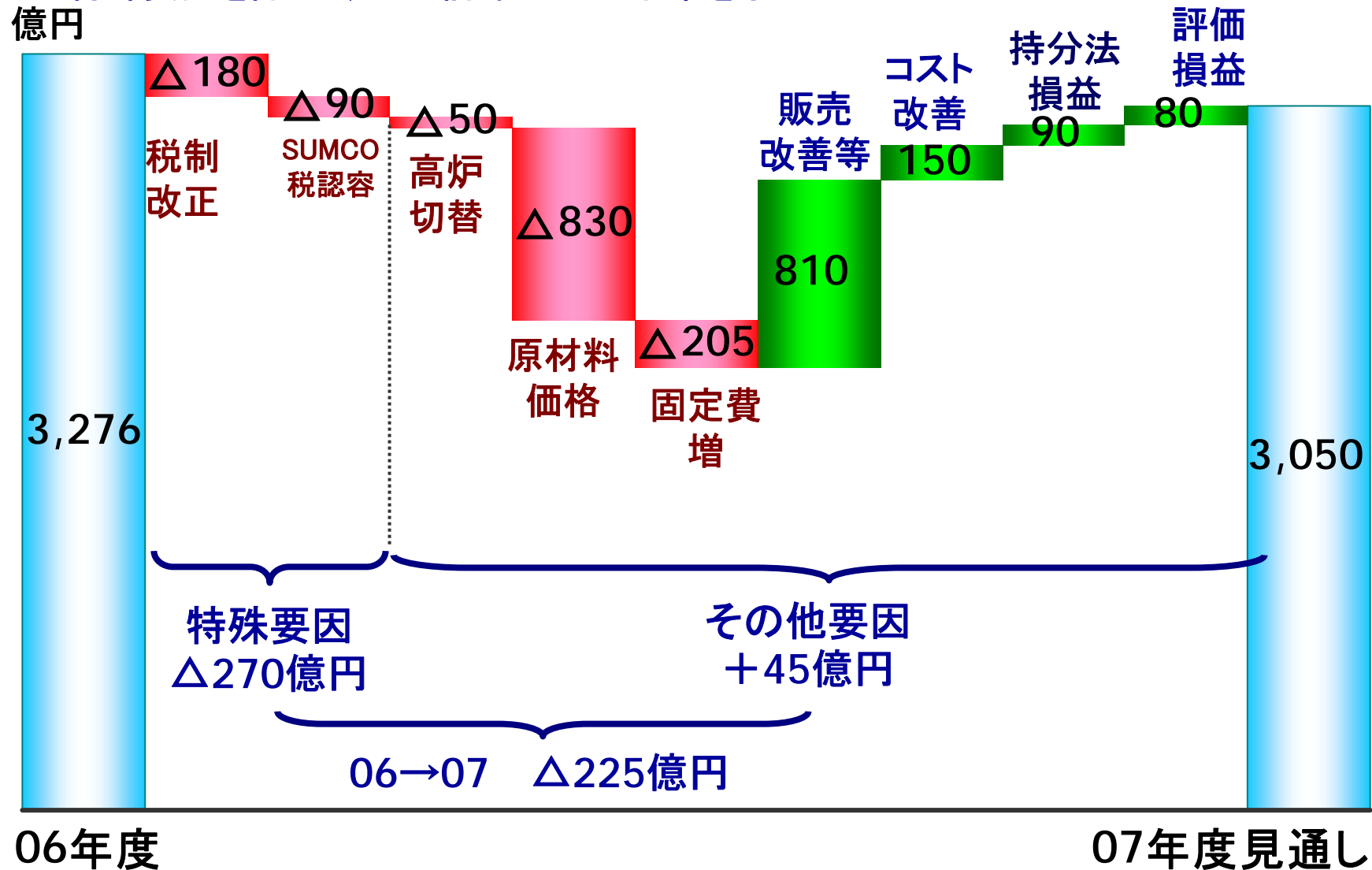
連結経常利益増減要因 (07/上期→07/下期見通し)

Ni価格沈静化に伴う評価損、新設備稼働に伴う固定費増加や為替影響が予想されるものの、販売価格の改善効果等によりカバーし、下期損益は、上期ほぼ横ばいの水準を予想



連結経常利益増減要因 (06年度→07年度見通し)

償却制度変更影響、06/上期にあったSUMCOの子会社税認容等の特殊要因を除くと、ほぼ前年並みの水準を予想



07年度 業績見通しの前提

	06年度			07年度					
	上期	下期	計	(前回) 上期	(前回) 下期	(前回) 年度			
為替レート (円/\$)	115	119	117	(118)	119	(115) 115程度	(116)	117程度	
全国粗鋼生産 (百万トン)	58	60	118	(60)	60	(58) 58程度	(118)	118程度	
当社粗鋼生産 (万トン)	667	671	1,338	(660)	661	(680) 690程度	(1,340)	1,350程度	
当社鋼材販売 (万トン)	601	614	1,215	(606)	608	(630) 638程度	(1,236)	1,245程度	
当社鋼材 平均単価 (千円/トン)	国内	95.3	96.1	95.7	(99)	97.2	(100) 98程度	(100)	97程度
	輸出	98.4	112.2	105.3	(112)	116.2	(113) 113程度	(113)	115程度
	Total	96.7	103.2	100.0	(104)	105.6	(106) 105程度	(105)	105程度

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む

**\$受取超過額
17億\$/年 程度**



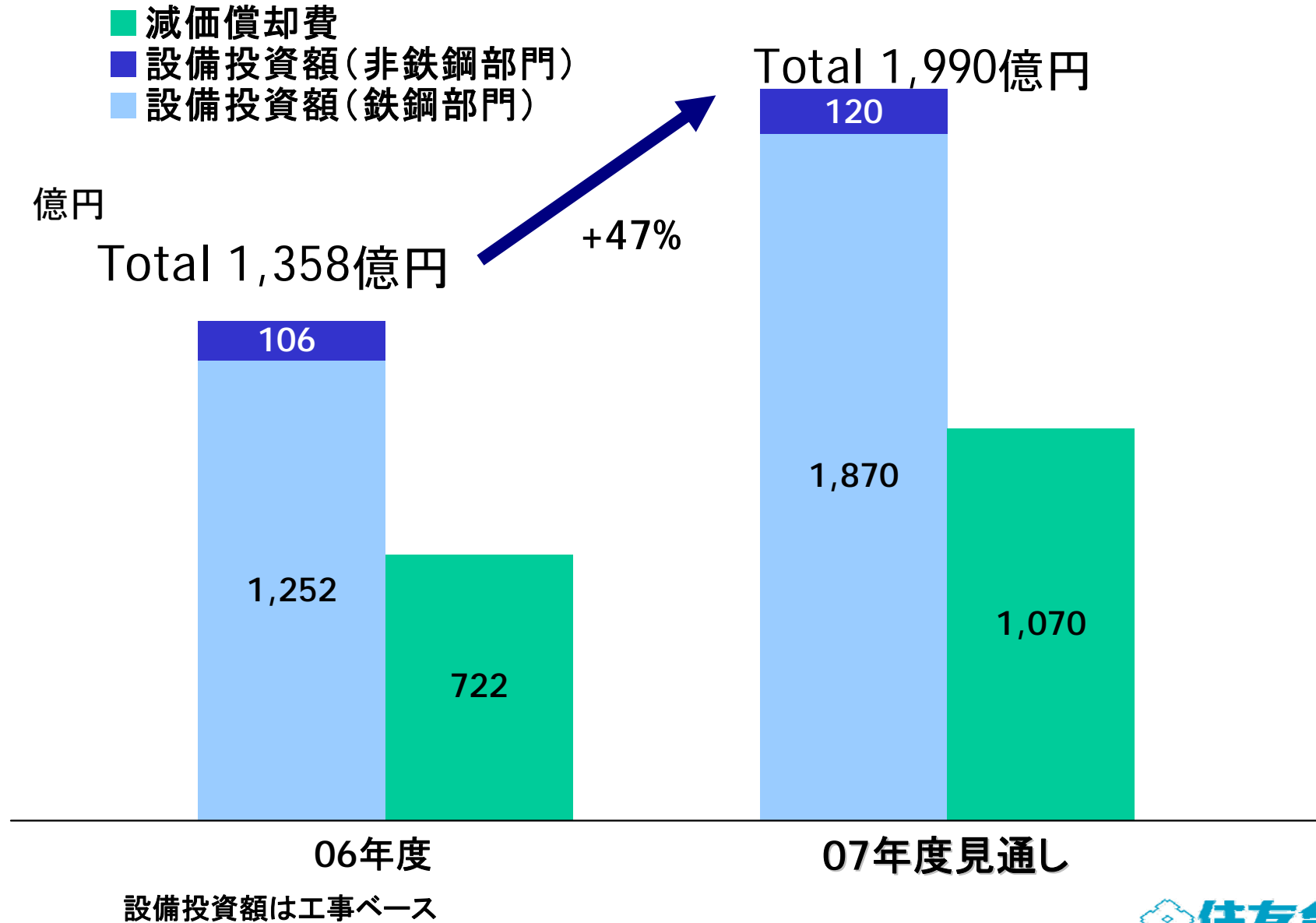
主要連結経営指標

	04年度	05年度	06年度	07年度		08年度 中計
				(前回)	見通し	
ROA *1	9.7%	14.5%	15.4%	(13% 程度)	13% 程度	13% 程度
ROE *2	25.8%	36.7%	28.3%	(20% 程度)	21% 程度	
自己資本比率	25.1%	34.1%	38.3%	(39% 程度)	39% 程度	45% 程度
D/Eレシオ	1.83	0.94	0.82	(0.83 程度)	0.86程度	0.6 程度
借入残高 (億円)	8,859	6,797	7,179	(8,150)	8,150	6,800
総資産 (億円)	19,231	21,133	23,015	(25,000)	24,500	23,800
単独 1株当たり 配当額	5.0	7.0	8.0	(8.0)	10.0	
(うち中間配当額)	(-)	(2.5)	(3.5)	(4.0)	(5.0)	

*1 金利前経常利益ROA

*2 自己資本当期純利益率

設備投資額 / 減価償却費の見通し



主要設備投資計画の進捗

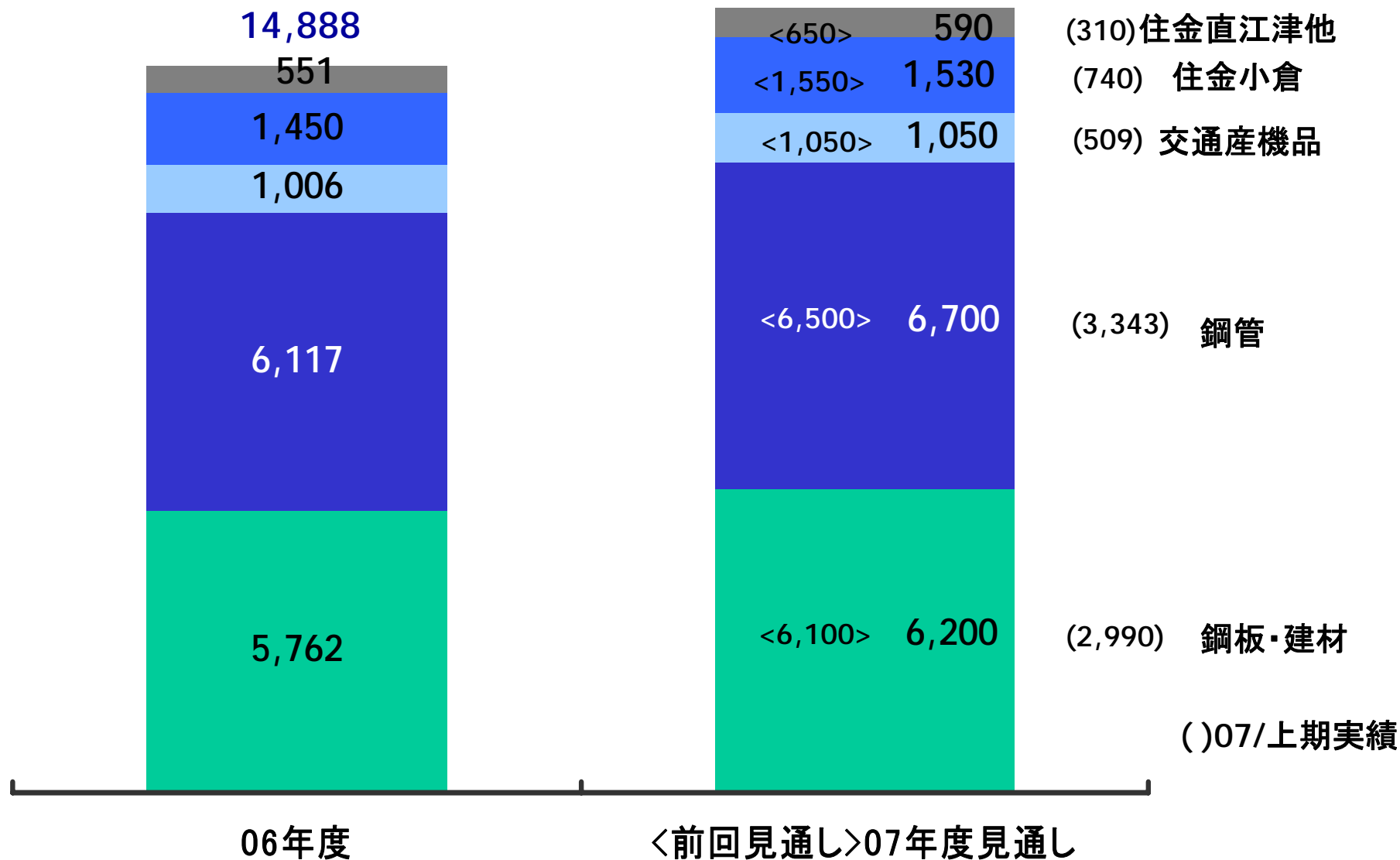
- ⋯⋯⋯ 中期経営計画
- 進捗状況
- 中期経営計画以外の新規投資案件

		投資額 (億円)	06年度	07年度	08年度	09	10	11	12
鋼板・建材	鹿島3高炉改修	290		5月					
	鹿島新CGL、新酸洗 (薄板自動車専用ライン)	260		9月					
	ハイエンド厚板増産	70		11月					
		30							
	熱処理能力増強								
鹿島PP	570		6月						
鋼管	和歌山上工程更新	1,600							
		900							
	新1高炉								
	新2高炉								
	スラブCC増強								
シームレス 最先端商品増産	350								
ハイエンド ポイラチューブ増産	65								
高炉一貫シームレスミル (VSB)	2,000 (合併合計)								
交通産機他	車輪増産	20							
	ICI 第3ライン HSF 第2ライン	80							
	住金小倉製鋼プロセス革新	230							

07年度連結 鉄鋼セグメントカンパニー別売上高 見通し²⁰

億円

<15,850>16,070億円程度 (7,894) 鉄鋼合計



2007年度 中間決算実績

2007年度 業績見通し

決算関係参考資料

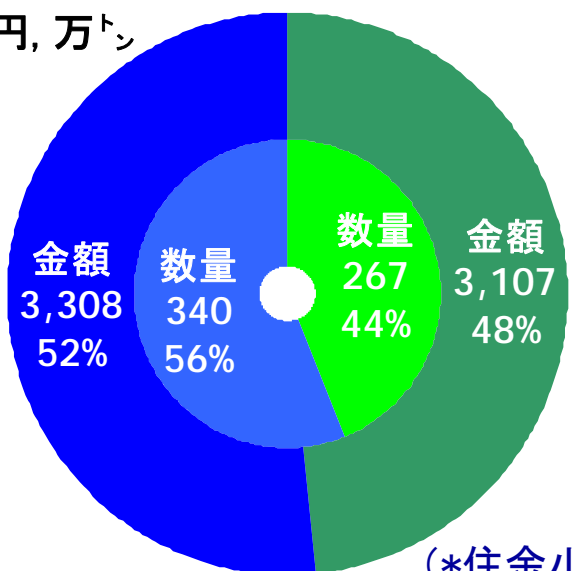
07年度 単独業績見通し概況

億円	06年度 実績	07年度見通し				06 → 07 増減			
		(前回)	上期	(前回)	下期		(前回) 計	(前回 との差)	
売上高	10,314	(5,450)	5,500	(5,650)	5,800	(11,100)	11,300	(200)	985
営業利益	2,385	(1,000)	1,059	(1,050)	1,040	(2,050)	2,100	(50)	△285
経常利益	2,406	(1,100)	1,153	(1,000)	1,000	(2,100)	2,150	(50)	△ 256
特別損益	△ 123	(4)	4	-	△ 55	(4)	△ 50	(△ 54)	73
法人税等 (含む調整額)	△ 890	(△ 400)	△ 432	(△ 400)	△ 370	(△ 800)	△ 800	(-)	90
当期純利益	1,392	(700)	725	(600)	575	(1,300)	1,300	(-)	△ 92

07/上期 鉄鋼事業国内・輸出別売上高

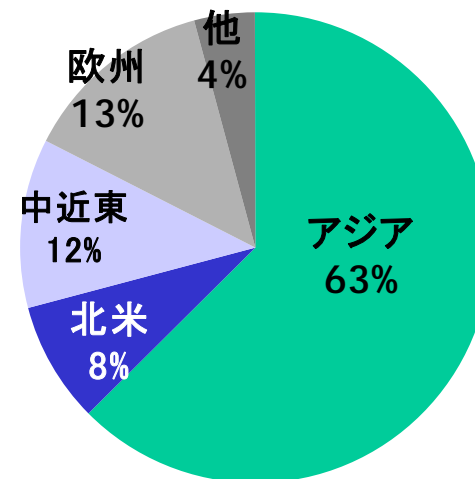
単位:億円, 万ト

国内



輸出

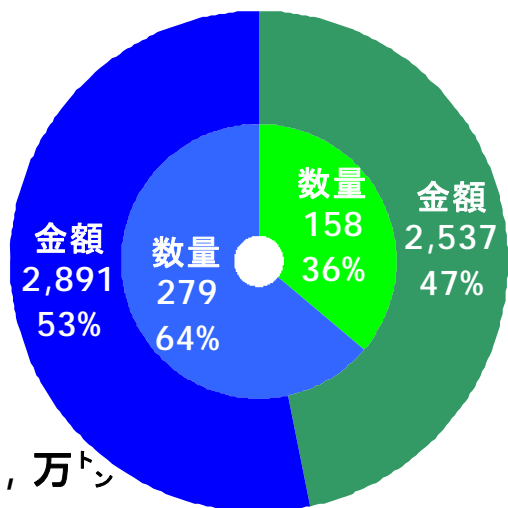
輸出向先別比率(金額)



(*住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む)

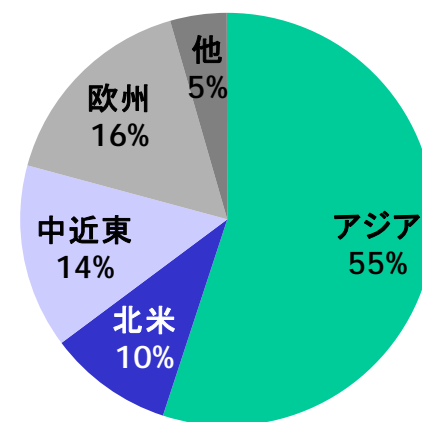
(参考)鉄鋼事業(単独)国内・輸出別売上高

国内



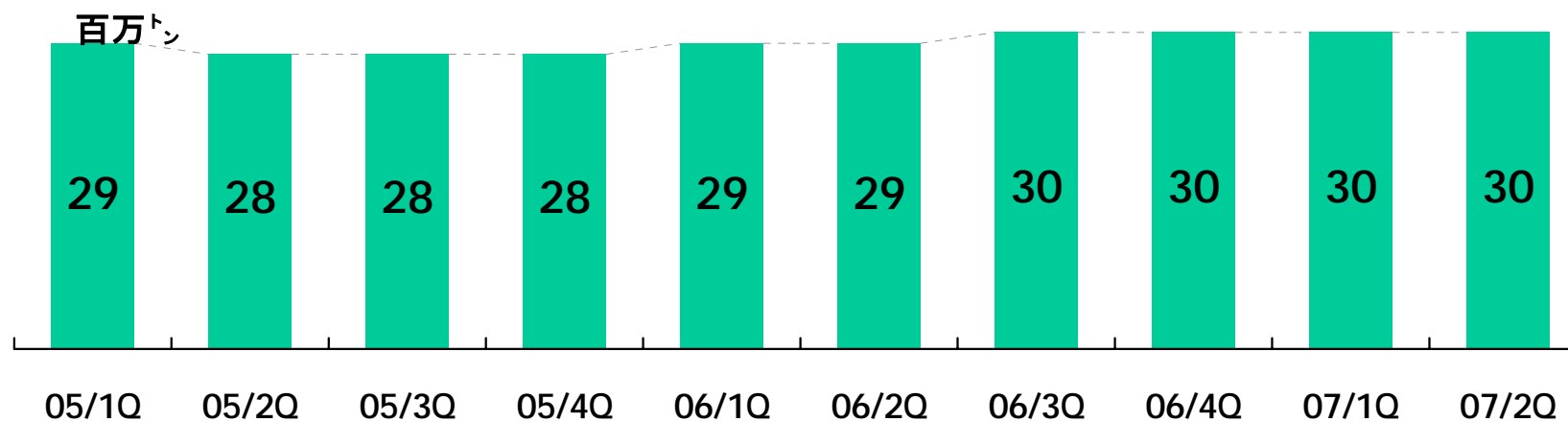
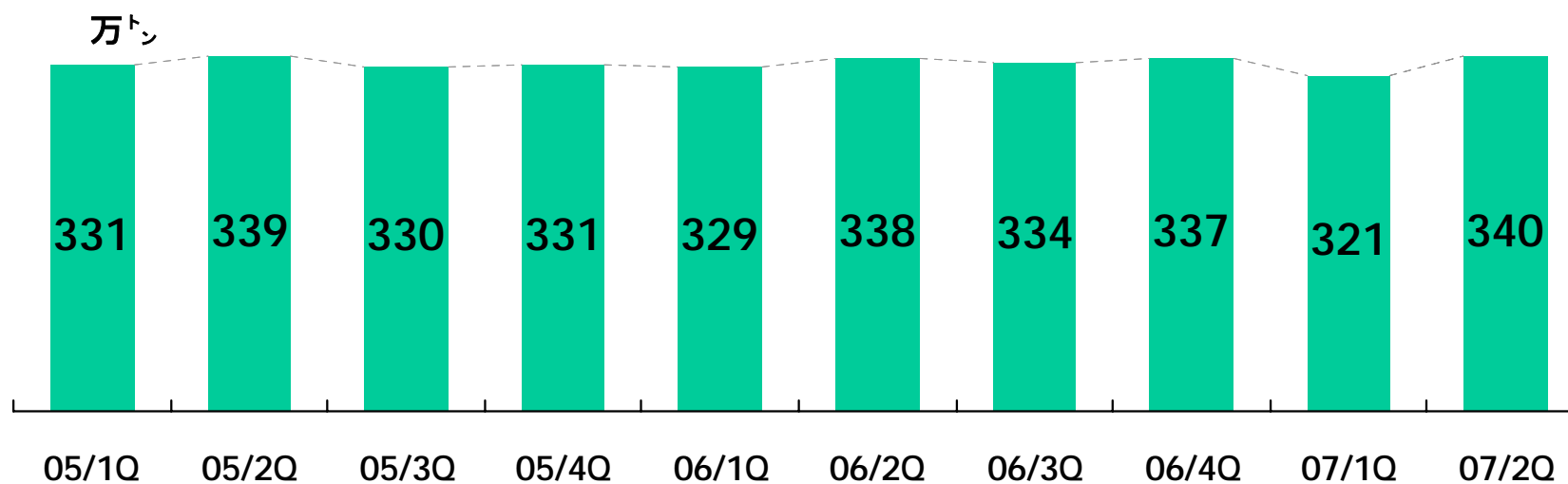
輸出

(参考)単独輸出向先別比率(金額)



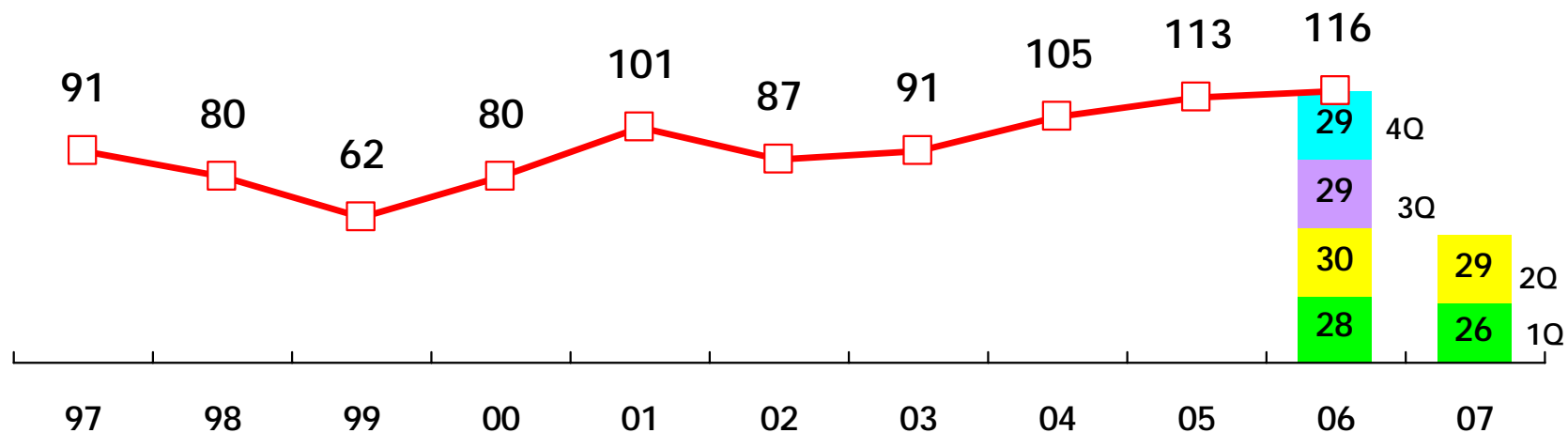
単位:億円, 万ト

参考数値(1)

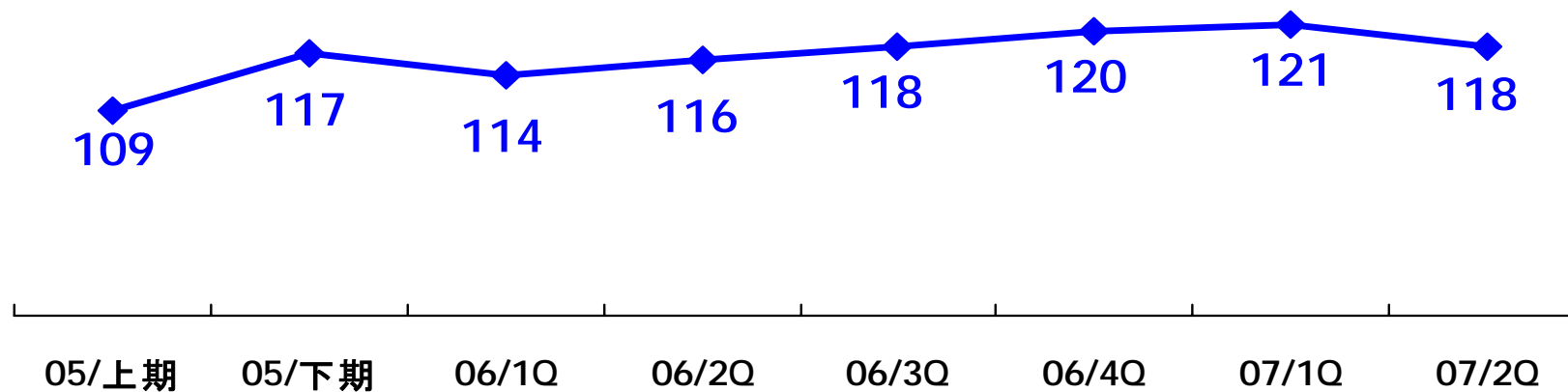
全国粗鋼生産量当社粗鋼生産量

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む

参考数値 (2)

シームレスパイプ販売量推移(万トン)為替レート

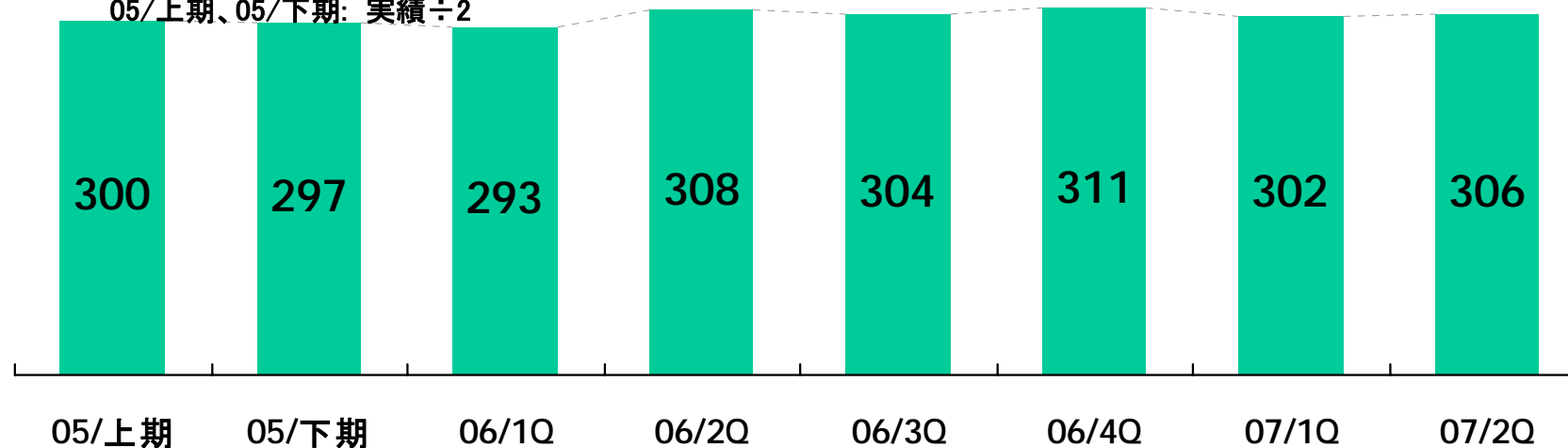
¥/\$



参考数値 (3)

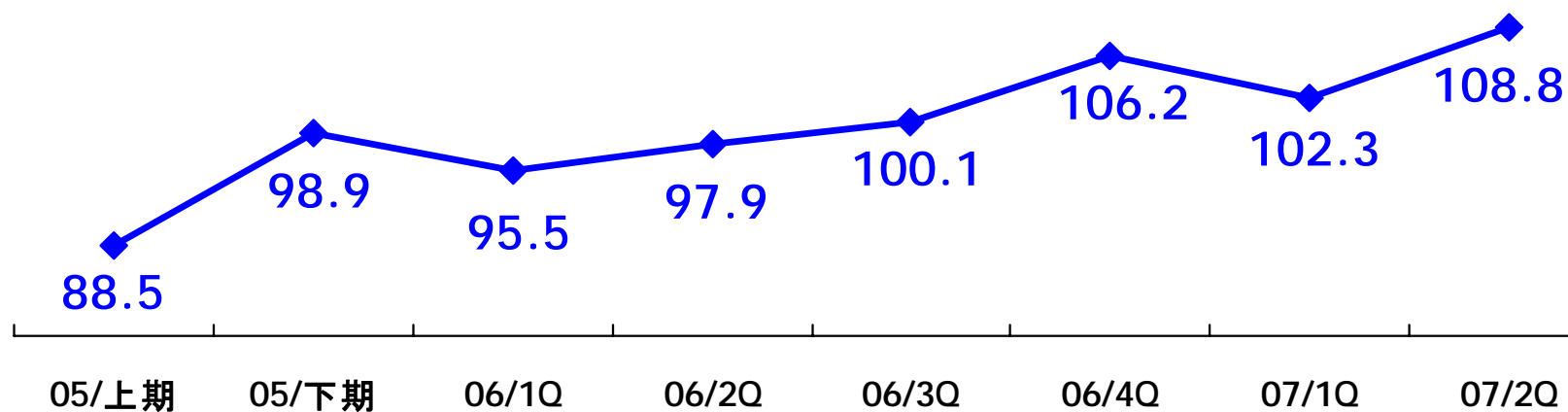
当社鋼材販売

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む

万トン
05/上期、05/下期: 実績÷2当社鋼材平均単価

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む

千円/トン



和歌山製鉄所 500万トン体制構築

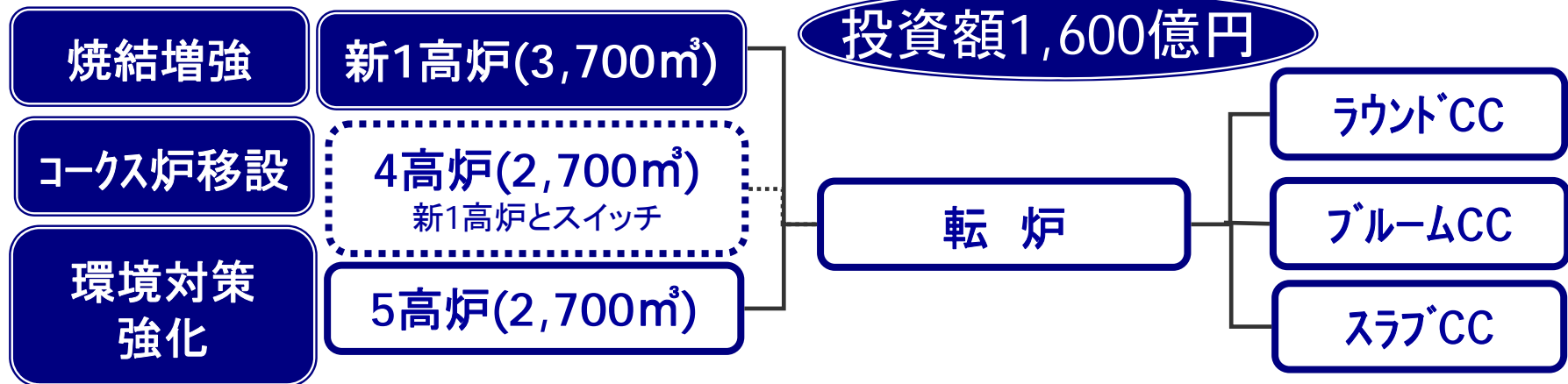
3社連携の深化・拡大について



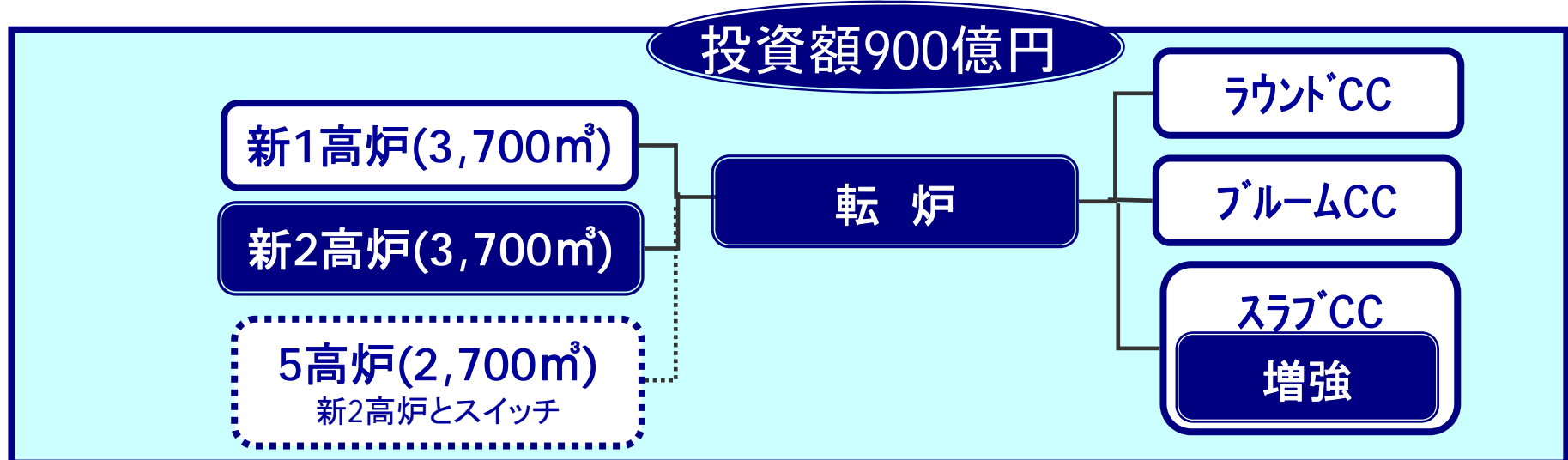
和歌山製鉄所 新2高炉の建設について

和歌山上工程更新プラン

【第1期】現状:普通鋼粗鋼 380万トン体制 → 新1高炉完成後 430万トン体制



【第2期】普通鋼粗鋼 430万トン体制 → 新2高炉完成後 500万トン体制

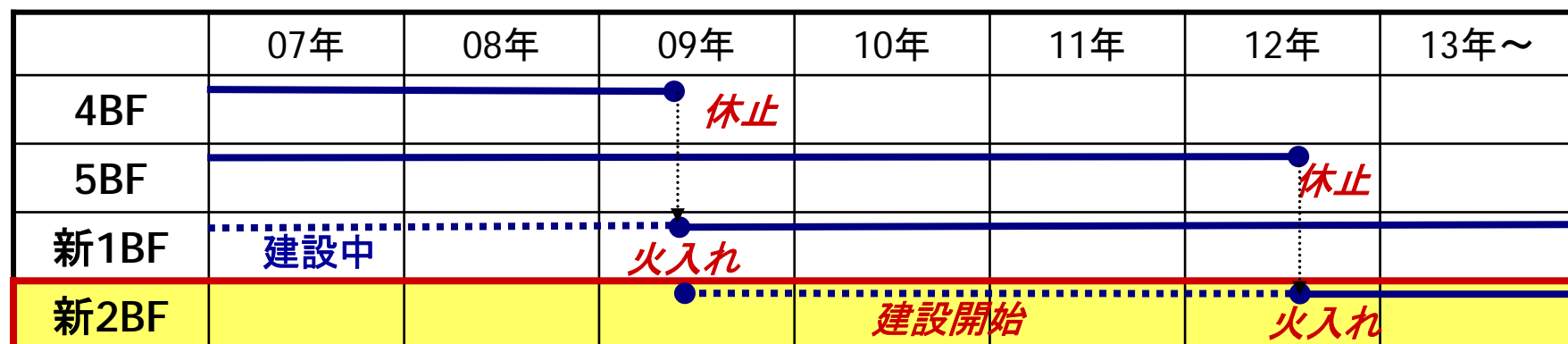


(和歌山の粗鋼生産には、上記の外数でステンレス粗鋼 約20万トン有り)

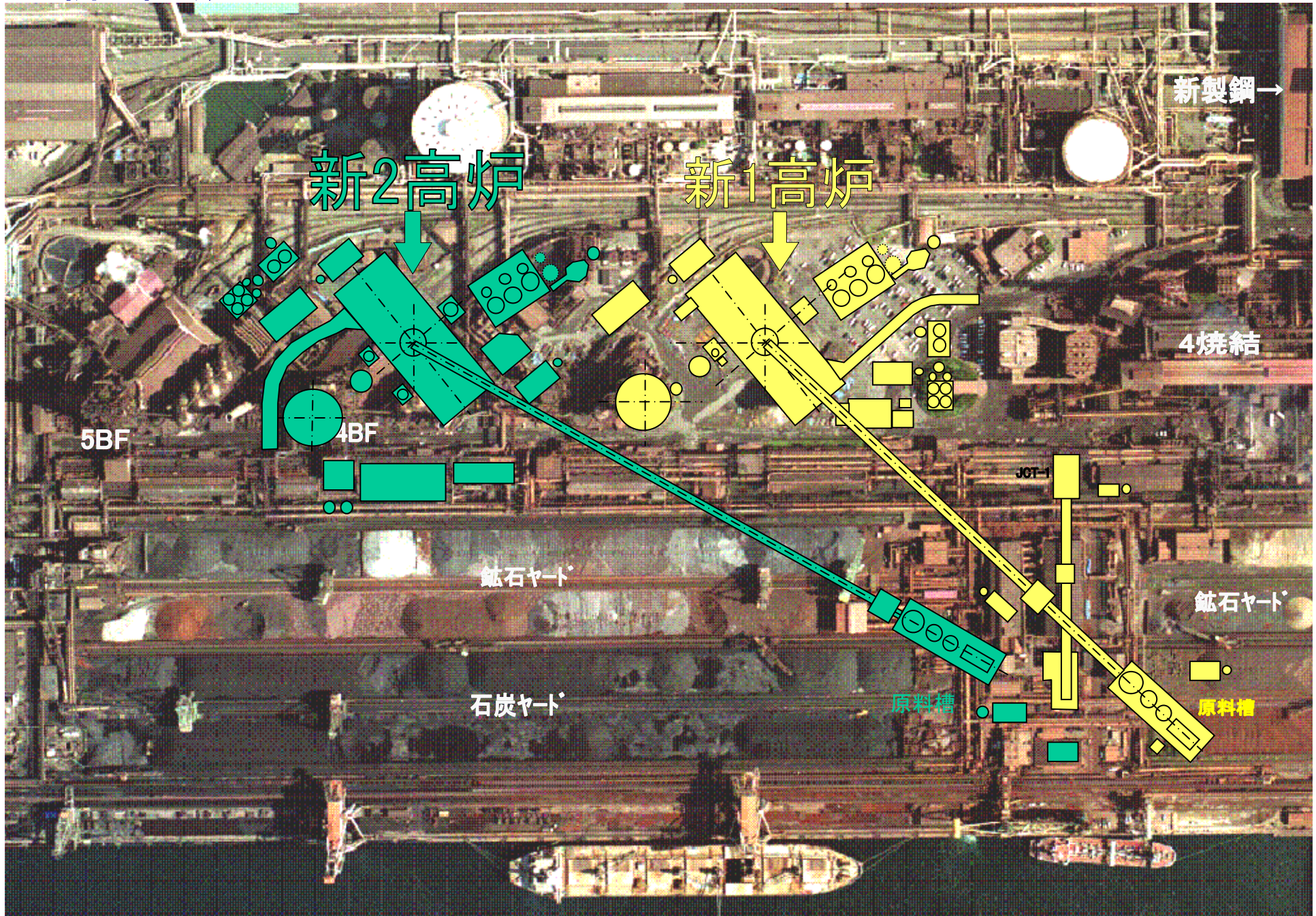
新2高炉の概要

現在建設中の和歌山新1高炉(2009年6月火入れ予定)と完全双子高炉

	4高炉	5高炉	新1高炉	新2高炉
稼動年月 (直近巻替年月)	1967年3月 (1982年2月)	1969年2月 (1988年2月)	2009年6月予定	2012年下期予定
内容積	2,700m ³	2,700m ³	3,700m ³	3,700m ³
生産能力	5,500t/日	5,500t/日	7,500t/日	7,500t/日
原料装入方式	ベル方式	ベル方式	ベルレス方式	ベルレス方式
微粉炭吹込能力	120kg/出銑t	140kg/出銑t	150kg/出銑t	150kg/出銑t
出銑口数	2本	2本	4本	4本



新2高炉 レイアウト



新2高炉の特徴

1. 和歌山新1高炉と完全双子高炉

建設時 ……設計費用の削減

操業開始後……新1高炉との

- ・操業データの共有化による長期安定操業の実現
- ・予備品・設備品の共有化によるコスト削減

2. 炉内容積の拡大による和歌山粗鋼生産能力の拡大

4高炉炉内容積 2,700m³ → 新2高炉 3,700m³

3. 25年以上の炉命を目標

新1高炉と同様に、稼働日数世界記録更新中の4高炉(2007年日経ものづくり大賞受賞)で培った炉体維持技術と最新の解析技術を駆使した設計により25年以上の炉命を目標

新日本製鐵(株)・(株)神戸製鋼所との
更なる連携深化・拡大の検討について

3社連携深化・拡大施策

■ 当社・新日鐵・神戸

- 3社での高級鋼対応としての和歌山鉄源設備共同活用の検討

高級スラブ販売増

当社

新日鐵

神戸製鋼

■ 当社・新日鐵

- 当社・新日鐵の高級鋼薄板供給能力確保の検討

高級薄板需要増への対応

当社

新日鐵グループ

- (株)住友金属直江津に関する共同対応策の検討

直江津の収益力強化

当社
住友金属直江津

新日鐵グループ

3社連携深化・拡大施策

■ 当社・神戸

- 当社グループ・神戸製鋼グループのハイテンションボルト事業提携の検討

グループ事業強化

当社グループ
(住金精圧品)

神戸製鋼グループ
(神鋼ボルト)

- 神鋼特殊鋼管へのステンレスボイラチューブ生産委託の検討

高級ボイラ鋼管拡販

当社

神鋼特殊鋼管

- 神戸製鋼へのチタン薄板熱間圧延の生産委託拡大の検討

チタン薄板の拡販

当社

神戸製鋼

- これら連携施策をより一層、円滑かつ着実に検討・実施していくことを目的とした相互の株式追加取得についても今後検討していく